
「総合人間学の構築」(2008年度第1回研究会)

日時：2008年6月20日(金) 午後2時～5時

場所：東京外大本郷サテライト7階会議室

発表：

- (1) 中谷英明 (AA研) 「第1回総合人間学パリセミナーについて」
 - (2) 新宮一成 (AA研共同研究員、京都大学) 「夢語りが神話を作る」
 - (3) 長野泰彦 (AA研共同研究員、国立民族学博物館) 「日本における人文・社会系研究の未来像」
-
-

発表1 「第1回総合人間学パリセミナーについて」 中谷英明 (AA研)

AA研・人間科学館学術協力協定(2005・2009)に基づき、第1回総合人間学パリセミナー「認識交換の生態学－人類史を構想するために」International Workshop: *Ecology of Epistemic Transfers in the Design of a History of Humanity* を2008年3月25・26日の二日間に亘ってパリ人間科学館において実施した。発表者と発表題目は次のとおり。

- 1) H. Nakatani (Tokyo University of Foreign Studies) *Corporal Activities and Contact with Nature proposed by Buddha*
- 2) D.Lestel (Ecole Normale Supérieure, Paris) *What is an Ecology of Epistemic Transfers ?*
- 3) H. Ichikawa (University of Tokyo) *Modern Significance of the Traditional Commonsense: Case study of Judaism and Buddhism*
- 4) P.Picq (Collège de France) *Reconstructing Human Origins after the Ecology of Human Evolution*
- 5) T.Maruyana (Nanzan University, Nagoya) *Situation Focus Character of the Japanese Language. --- in Comparison with Major European Languages.*
- 6) J.P.Changeux (Institut Pasteur, France) *Genetic and Epigenetic Developments of Human Neural Networks.*
- 7) J.L.Dessalles (Ecole Nationale Supérieure des Télécommunications, Paris) *What is It That People call Knowledge?*
- 8) J.C.Galey (Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales, Paris) *A Methodological Reconsideration on the Generalized Science of Humanity.*

発表2 「夢語りが神話を作る」 新宮一成 (京都大学人間・環境学研究科)

REM睡眠の観察から、動物も夢を見ていることが強く推定されるため、夢は生理現象の偶発的随件事象に過ぎないと考える人もいる。しかし、人間の夢の特徴は、人間は、目覚めてからその夢を他者に語るというところにある。これによって人間の夢は単なる生理現象であることから脱し、1) 現実の相対化、2) 超越者の措定、3) 神話の創成、へと向かったのである。

発表(3) 「日本における人文・社会系研究の未来像」 長野泰彦 (民博)

本年3月まで人間文化研究機構の理事として、石井米雄機関長とともに同機構の立ち上げ(2004年)以来、その運営に携わってきた長野氏が、日本の人文科学・社会系研究と研究機関の未来像について報告した。臨時に出席くださった大塚所長を交え、活発な議論が交わされた。

議題：「総合人間学の構築」本年度の計画

(1) 出版計画

前回研究会において合意したとおり、執筆分量のみを指定して内容については「よりよい社会と個人の安寧に関して最も重要と思われる事象を記述する」というガイドラインのみを設けて原則として自由な記述に任せる。共同研究員から本年土中に執筆内容の概要を収集する。

(2) シンポジウム計画

次回シンポジウムの企画は以下の案を基に検討する。

第5回 総合人間学国際シンポジウム「意識を作る・意識を変える

ー よりよい地球共同体のために ー」

主 催 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所

日 時 平成 21 年 2 月

場 所 東京

講演予定者

1. 招聘フランス人研究者（今枝由郎・チベット学・CNRS 主任研究員）
2. 招聘フランス人研究者（未定・情報科学または古人類学）
3. 中田力（新潟大学統合脳研究センター長・脳科学）
4. 日高敏隆（前総合地球環境学研究所所長）
5. 松井健（東京大学東洋文化研究所教授・文化人類学）
6. 新宮一成（京都大学総合人間学部教授・精神医学）
7. 内堀基光（放送大学教授・文化人類学）
8. 中谷英明（AA研・インド仏教学）